岩手河川国道事務所の河川事業に係わる平成20年度当初予算は、約７２億円（平成19年度当初 約６７億円：対前年比１．０８）、砂防事業は約１０億円（平成19年度当初 約９億円：対前年比１．０４）をもって事業を推進します。

※道路関係予算については、現在国会において予算関連法案が審議中のため、確定し次第お知らせいたします。

なお、国民生活の安全安心を確保するための維持管理等は例年どおり執行します。

１．予算総括

［単位：百万円］

区　　分	平成１９年度 当初予算 (a)	平成２０年度 当初予算 (b)	伸率 b/a	事業箇所等
河川事業	6,706	7,255	1.08	・北上川上流
砂防事業	936	977	1.04	・八幡平山系
合　計	7,642	8,232	1.08	

２．主要概要

【河川事業】

○一関遊水地事業
○北上川中流部治水対策事業（立花地区、八幡地区）
○北上川上流一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業
○一関地区水辺プラザ環境整備事業
○北上川上流自然再生事業（北上地区）
○北上川上流の管理区間における維持修繕、応急対策事業

【砂防事業】

○八幡平山系直轄火山砂防事業

平成２０年度　主要事業の概要

河 川 事 業

「新規事業の概要」

○**北上川中流部治水対策事業（八幡地区）**（花巻市）【参照　P.6】

花巻市八幡地区では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家等を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、連続堤だけに寄らない治水対策として、平成20年度から事業に**着手**します。

「完成事業の概要」

○**一関地区水辺プラザ環境整備事業**（一関市）【参照　P.7】

北上川を基軸に歴史・文化や自然等を素材とした親水空間を創出し、地域の交流ネットワークの拠点となる整備を行うため、護岸等を整備し事業の**完成**を目指します。

「継続事業の概要」

○**一関遊水地事業**（一関市、奥州市、西磐井郡平泉町）【参照　P.8～9】

一関遊水地事業では、北上川右支川**衣川**において、大規模な浸水被害の軽減を図るため堤防整備の推進及び接待館遺跡保存のための**河道付替**に**着手**します。また、遊水地内の優良農地を中小規模の洪水から守るための**「小堤」**整備を**推進**します。

○**北上川中流部治水対策事業（立花地区）**（北上市）【参照　P.10】

北上市立花地区では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家等を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、連続堤だけに寄らない治水対策として、用地補償等に**着手**します。

○**一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業**（一関市）【参照P. 11】

宮城県境から一関遊水地下流までの区間（約26km）のうち、上流の一関・川崎地区（一関遊水地下流～砂鉄川合流点）までの区間において、治水対策としての家屋、用地の補償等を引き続き行います。
また、用地調査、測量設計も引き続き行います。

○**北上川上流自然再生事業（北上地区）**（北上市）【参照　P. 12】

北上川と和賀川の合流点において、近年、外来種の繁茂等により土砂が堆積し、河道内の陸地化が進行したことにより澪筋が固定化され、原生していた水際植生等の消失が懸念されることから、本来の清冽な流れを再生させるとともに良好な生態系を確保するため、自然再生計画を立案するとともに、試験的に外来種伐採や砂州撤去を行います。

○**一関遊水地磐井川堤防の治水対策検討**（一関市）

堤防の高さや幅が不足し、堤防内部構造の安全性に問題のある磐井川上流区間では、良好な河川空間を保全し、安全で効率的な治水対策を検討します。

○**維持修繕事業**

河川管理施設の機能維持を図るため、堤防除草、護岸補修等を引き続き行います。
また、流下能力を改善するため、河道内の樹木伐採を行います。

平成20年度　主要事業箇所図
（岩手河川国道事務所）

